

# Weekly M&A Review

2009年5月22日 (No. 007)

株式会社エスネットワークス リサーチ室第1部

M&Aに関する最新情報をお送りします。

## 【今週号のトピック】

今週のディールレビュー

- IHIによる松尾橋梁へのTOB
- 【自己株TOB】日本空港ビルデングのTOB
- 日本板硝子のメザニンファイナンス（優先株式発行）
- フューチャーベンチャーキャピタルのエクイティファイナンス（普通株・CB発行）
- ローソンによるエーエム・ピーエム・ジャパンの子会社化見送り

## I. 今週のディールレビュー

### 1. TOB案件（株式公開買付け）

#### （1）IHIによる松尾橋梁へのTOB（5月18日）

IHIは、松尾橋梁へのTOBを発表。松尾橋梁は同時に賛同意見を表明。

#### 【TOB概要】

公開買付者	株式会社IHI（東1#7013）
対象	松尾橋梁株式会社（東1#5913）
期間	5月19日～6月16日（21営業日）
価格（プレミアム）	122円/株 （発表日前日終値比：+35.56%、直近1ヵ月単純平均比：+41.86%、直近3ヵ月単純平均比：+54.43%）
数量	上限：設定なし 下限：22,238,000株（66.6%）
その他	—

出所：5月18日付IHI「松尾橋梁株式会社株式に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」

#### ショート・コメント

- ✓ TOB後全部取得条項付種類株式の利用によるスクイーズアウトを実施予定。また、松尾橋梁は上場廃止となる見込み。
- ✓ IHIの株価は、5月22日終値で170円（TOB発表前日終値比+11円）。松尾橋梁の株価は、5月22日終値で120円（TOB発表前日終値比+30円、TOB価格比▲2円）。

#### （2）【自己株TOB】日本空港ビルデングのTOB（5月19日）

日本空港ビルデングは、自己株式TOBを発表。

#### 【TOB概要】

公開買付者	日本空港ビルデング株式会社（東1 #9706）
対象	同上
期間	6月30日～7月28日（20営業日）
価格（プレミアム）	1,000円/株 （発表日前日終値比：+3.8%、直近1ヵ月単純平均比：±0%、直近3ヵ月単純平均比：▲3.2%、直近6ヵ月単純平均比：▲6.1%）
数量	上限：22,000,000株（21.88%） 下限：設定なし
その他	筆頭株主であるマッコーリー（インターナショナル・インフラストラクチャー・ホールディングス・ビー・ヴィー）は、本TOBへの応募に合意済み（保有比率：19.9%）。

出所：5月19日付日本空港ビルデング「自己株式の取得議案の定時株主総会への付議及び総会承認決議を条件とする自己株式公開買付けに関するお知らせ」

#### ショート・コメント

- マッコーリーはオーストラリア系の投資ファンド。同ファンドは、日本空港ビルデングに対し457億を投資していた（注1）が、本TOBによりEXITとなる。想定損失額は、257億円程度とみられる。

（注1）出所：インターナショナル・インフラストラクチャー・ホールディングス・ビー・ヴィー5月20日提出「変更報告書」

（注2）TOB価格（1,000円/株）×保有株式数（20,000,400株）－投資額（45,780,109千円）

- 日本空港ビルデングの株価は、5月22日終値で1,080円（TOB発表前日終値比+109円、TOB価格比+80円）。

## 2. ファイナンス（エクイティおよびメザニン）

### （1）日本板硝子のメザニンファイナンス（優先株式発行）（5月20日）

日本板硝子（東1 #5202）は、優先株式の発行を発表。

#### 【優先株概要】

割当先 （払込額）	UDSコーポレート・メザニン投資事業有限責任組合（45億円） UDSコーポレート・メザニン3号投資事業有限責任組合（255億円）
発行予定日	2009年7月1日
発行価格	10,000円/株
優先配当率	9.25%（初年度8.42%。また、優先配当率が2事業年度連続して9.25%に届かなかった場合には、12.25%に変更される）
取得請求条項	あり （金銭および普通株式を対価として、割当先は日本板硝子に対して請求が可能。ただし本条項の発動には一定の条件あり）
普通株式への転換価格 （プレミアム）	291.7円（発表日前日終値比：▲1.1%） なお、普通株式への転換価格に関し修正条項が付されている。 修正後転換価格：毎年1月15日および7月15日以前45取引日～16取引日の終値平均×90%。 ただし、下限価格あり（約190円。当初転換価格291.7円×65%）。

このレポートは主として情報提供を目的としたものであり、特定の会計・税務処理を勧奨するものではありません。会計上及び税務上の判断については、事前に公認会計士及び税理士、弁護士等の専門家と十分ご相談ください。  
記載された意見や予測等は作成時点のものであり、その正確性及び完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。当該レポートの内容に関する一切の権利は株式会社エスネットワークスに帰属し、事前の了承の無い複製又は転送を禁じます。

調達総額 (資金使途)	300 億円 (短期借入金の返済 230 億円、運転資金 70 億円)
その他	—

出所：5月20日付日本板硝子「第三者割当による優先株式の発行、「その他資本剰余金」増加（株式発行と同時の資本金の額及び資本準備金の額の減少）及び定款の一部変更に関するお知らせ」

#### ショート・コメント

- ✓ 事業会社のメザニン（優先株）による資金調達。また日本板硝子は、本メザニンファイナンスの発表と同時に、2009年3月期の業績を発表。  
ガラス需要の低迷など経営環境が悪化する中、連結売上高は前年対比で▲14.6%の下落。また、経常損失▲122億、当期純損失▲283億という結果に。
- ✓ 割当先のUDSコーポレート・メザニン投資事業有限責任組合は、日本政策投資銀行と三井住友銀行によるメザニンファンド。[http://www.smbc.co.jp/news/pdf/j20051117\\_01.pdf](http://www.smbc.co.jp/news/pdf/j20051117_01.pdf)  
過去の投資実績としては、ワールド、キューサイなどがある（いずれもMBOにより非上場化）。
- ✓ 日本板硝子の株価は、5月22日終値で256円（発表前日終値比▲39円）と下落。

## (2) フューチャーベンチャーキャピタルのエクイティファイナンス（5月21日）

フューチャーベンチャーキャピタル（大へ#8462）は、韓国のベンチャーキャピタルである韓国技術投資株式会社（KTIC）との業務・資本提携（第三者割当増資および転換社債型新株予約権付社債（CB）の発行）を発表。

これによりKTICグループ（役員等の関係者含む）が、フューチャーベンチャーキャピタルの議決権28.2%（潜在株ベース）を保有することになる予定。

#### 【第三者割当増資概要】

割当先 (払込額・持株比率)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KTICホールディングス（33百万円、6.6%）</li> <li>・徐 甲洙氏（KTIC会長）（33百万円、6.6%）</li> <li>・志垣重政氏（KTIC JAPAN社長）（33百万円、6.6%）</li> </ul> 計 101 百万円（19.8%）
発行予定日	2009年6月19日
発行価格 (プレミアム)	11,920円/株 (発表前日終値比：▲22.1%、直近3ヶ月間平均比：+2.0%)
調達総額 (資金使途)	101 百万円 (組合出資金および運転資金)
その他	—

#### 【CB概要】

割当先 (払込額)	KTICホールディングス（60百万円）
発行予定日	2009年6月19日

このレポートは主として情報提供を目的としたものであり、特定の会計・税務処理を勧奨するものではありません。会計上及び税務上の判断については、事前に公認会計士及び税理士、弁護士等の専門家と十分ご相談ください。  
記載された意見や予測等は作成時点のものであり、その正確性及び完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。当該レポートの内容に関する一切の権利は株式会社エスネットワークスに帰属し、事前の了承の無い複製又は転送を禁じます。

発行価格 (プレミアム)	11,920 円/株 (発表日前日終値比：▲22.1%、直近3ヶ月間平均比：+2.0%)
調達総額 (資金使途)	60 百万円 (組合出資金および運転資金)
その他	—

出所：5月21日付フューチャーベンチャーキャピタル「業務・資本提携に関するお知らせ」「第三者割当による新株式発行及び転換社債型新株予約権付社債の発行に関するお知らせ」

#### ショート・コメント

- ✓ 先日の大和SMB Cキャピタルの非上場化、日本アジア投資のADR申請に続く上場VCに関するニュース。本ファイナンスにより、最大39.2%の希薄化が生ずることになる見込み。
- ✓ 発行価格は、直近3ヶ月間平均値からすると+2%のプレミアムであるものの、発表日前日終値比では▲22%のディスカウント。しかし、本ファイナンスについては、「特に有利な金額に該当するとまではいえない」として、株主総会の決議は経ずに実行される予定。
- ✓ フューチャーベンチャーキャピタルの株価は、5月22日終値で15,400円(発表前日終値比+100円)と小幅に増加。

### 3. その他

#### (1) ローソンによるエーエム・ピーエム・ジャパンの子会社化見送り(5月19日)

ローソン(東1#2651)は、エーエム・ピーエム・ジャパン(am/pm)の子会社化の見送りおよび業務提携の解消を発表。

#### ショート・コメント

- ✓ CVS2位のローソンと、同7位のam/pmの統合は本年の2月に発表。  
ローソンとam/pmの統合により、ローソンは東京都におけるシェアNo.1のCVSチェーンとなる構想であった(注)が、商標権者との調整がつかず、子会社化は白紙に。
- ✓ ローソンの株価は、5月22日終値で4,040円(子会社化見送り発表前日終値比▲80円)。

(注) 出所：株式会社ローソン作成「株式会社ローソン株式会社エーエム・ピーエム・ジャパン基本合意書締結に関する説明会」

<http://www.lawson.co.jp/company/ir/library/pdf/presentation/ampm2009.pdf>

#### 【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社エスネットワークス リサーチ室第1部 公認会計士 高桑 昌也

Tel 03-5573-4661 / m-takakuwa@esnet.co.jp

このレポートは主として情報提供を目的としたものであり、特定の会計・税務処理を勧奨するものではありません。会計上及び税務上の判断については、事前に公認会計士及び税理士、弁護士等の専門家と十分ご相談ください。  
記載された意見や予測等は作成時点のものであり、その正確性及び完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。当該レポートの内容に関する一切の権利は株式会社エスネットワークスに帰属し、事前の了承の無い複製又は転送を禁じます。